

CS だより

第8号 令和6年3月

浜松市立積志中学校
CS コーディネーター
岡本 知之
CS ディレクター
北寒寺 知子

【第4回学校運営協議会が開催されました】

今年度最後となる第4回の学校運営協議会が2月26日（月）に開催されました。今回の協議会では、今年度の教育活動や学校運営に対する学校の自己評価の結果について評価を行ったり、学校運営協議会の取組に対する自己評価を行ったりしました。さらに、校長の掲げる来年度の学校運営の基本方針や、来年度の学校運営協議会の取組についての意見交換も行いました。

詳細につきましては、積志中学校のホームページで学校運営協議会の議事録を公開しておりますので、ぜひご覧ください。



【今年度の学校運営協議会の活動報告】

今年度は、以下の2つの取組を学校支援活動として実施しました。

①「夏休み学習室」の開設、学習支援ボランティアの募集

「夏休み学習室」を開設するにあたり、学習支援ボランティアの募集を行いました。学習支援ボランティアは、地域全体、高校生、大学生に対して呼び掛けました。「夏休み学習室」には100名を超える中学生と、総勢30名（地域住民・保護者・高校生）のボランティアが集まりました。

どの生徒も、ボランティアの方々のアドバイスを聞きながら、夏休みの課題に熱心に取り組んでいました。



②祭典用法被の寄贈依頼

「体育大会のソーラン節で使用する法被の準備に苦慮する家庭が多くなってきているため、地域の力を借りることはできないか」という学校からの要請を受けて行った取組です。さくら連絡網と地域の回覧板を使い、地域全体に法被の寄贈依頼を行ったところ、予想以上の反響があり、29人の方から合計73枚の寄贈がありました。おかげさまで、体育大会で生徒が着用する法被を無事揃えることができました。



学校運営協議会の取組にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

【来年度の学校運営協議会の取組】

地域と学校、地域と中学生をつなげることができるような取組ができないかと考えています。その1つとして「防災」という視点から学校運営協議会としてできることを探していく計画をしています。また、「部活動の地域移行」に関する取組についても、今年度よりさらに前進させていきたいと考えています。

来年度も今年度に引き続き、取組を一つずつ着実に具現化していき、地域が学校を支える土台をつくることを目指して、地域への積極的な情報発信、学校と地域がより密接に連携するための体制づくりを考えていきます。